

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年1月7日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月7日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

今年初めのブリーフィングになります。今年もよろしくお願ひします。

まず、1ポツの（2）、来週の委員会は、定例会のほかに午後に臨時会議があります。

日本原燃の経営層との意見交換で、原燃側の出席者は増田社長と松田常務執行役員ということになっています。

経営層との意見交換シリーズを12月、1月と続けてきましたけれども、ここで一旦打ち止めみたいな感じになります。

次が、1月11日の（1）、4つの会議の合同開催というように書いてあると思ひますけれども、これはJAEAの関係の施設についての審査会合と監視チームの合同会議ということになるようです。

議題は3つありまして、1つは保安規定の変更認可とありますけれども、これはJAEAのほうで組織変更があるようなので、それに伴う変更ということのようです。

2つ目は、もんじゅの燃料体の取出し作業の進捗状況の報告があるということであります。

議題の3つ目は、もんじゅの廃止措置の第2段階の検討状況とありますけれども、具体的にはナトリウムの搬出ということをするようでありまして、その検討状況の報告があります。

次が、1月11日の（3）、ALPS処理水に関する審査会合です。

前回、昨年12月24日にありましたが、そこで出たコメントへの回答などとなりまして、その後も週1回ぐらいのペースで進んでいくと聞いています。

次に、1月14日の（5）、第1024回審査会合とありますけれども、これは地震・津波関係であります。

議題は3つありまして、1つ目は伊方の標準応答スペクトルについてということで、その件については初めての会合ということになります。

2つ目は志賀です。

11月に現地調査に行きまして、そこで幾つか宿題が出てということのようですけれども、

まだその宿題の答えが出てくるわけではなくて、今後、その対応するための調査の計画みたいなものが出てくるよだと聞いています。

3つ目は泊の地震動評価についてということで、という議題の3つになります。

次が、1月14日の（7）、炉安審・燃安審の安全基本部会の合同会議です。

これは、前は9月16日に行っていて、4か月ぶりというものです。

議題は3つありまして、1つは原子力規制検査についてということですが、規制庁側と、あと、事業者が3社出てきまして、九州と四国と中国ですが、そこから検査の実施状況について説明があります。

あとは部会の外部有識者委員が検査の現場を同行する形で視察をしましたので、その結果の報告があるということになっています。

2つ目は、IRRSフォローアップミッション後の対応ということで、IRRSへの対応については、これまでも炉安審・燃安審に報告してきましたけれども、現在の対応状況について改めて報告するというものです。

議題の3つ目は、国内外で発生した事故トラブル云々と書いてありますけれども、これは直近の技術情報検討会の結果を報告するというものになります。

最後が、3の委員の現地視察です。

1月13日に伴委員がQSTの視察を行います。

昨年新しくできました高度被ばく医療線量評価棟というのがありまして、その視察などということになります。

こちらからの説明は以上です。

失礼しました。伊方の標準応答スペクトルは、先ほど初回と言いましたけれども、2回目ということで間違っていました。

こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。